

令和7年12月16日

原子力施設立地・隣接道府県

原子力災害医療（被ばく医療）機関の長 殿

広島大学放射線災害医療総合支援センター長

廣 橋 伸 之

（公印省略）

令和7年度「甲状腺簡易測定研修（広島大学 第4回）」の開催について

日頃より高度被ばく医療支援センター業務にご協力いただきありがとうございます。

原子力規制委員会から基幹高度被ばく医療支援センターの指定を受けている量子科学技術研究開発機構、高度被ばく医療支援センターの指定を受けている弘前大学、福島県立医科大学、福井大学、長崎大学、広島大学の6機関が分担して「甲状腺簡易測定研修」を開催しています。

本研修は、甲状腺簡易測定を行う担当者の養成を目的としており、原子力災害時に放射性ヨウ素が環境中に放出された場合に備え、周辺住民等の甲状腺簡易測定を迅速に実施できる体制整備の一環として開催するもので受講対象としては、原子力災害時に甲状腺測定を担当される方及びその可能性のある方が中心に受講いただくことになります。

広島大学では、今年度4回の開催を計画しており、全支援センターで開催する甲状腺簡易測定研修としては、今年度最後のご案内です。

貴機関より、本研修受講対象者をご推薦の上、被ばく医療研修ポータルサイトからお申込みいただきますようお願いいたします。

広島大学 放射線災害医療総合支援センター 事務局

TEL : 082-257-5411 FAX : 082-257-5403

e-mail : iryo-hibaku-jimu@office.hiroshima-u.ac.jp